



STURMANSKIE

CONTENTS

1 MODEL 515.24...
VD 78
MODEL 6S20/21

3 9231
2416
2426 / 2432

5 2431
2609
3105

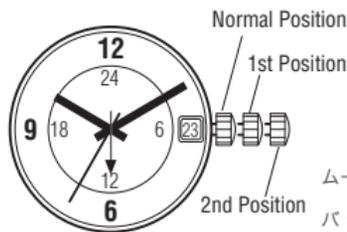
7 3133
9015

9 NE 86/NE 88
NH35A

11 2612
機械式手巻き時計の巻き上げ方



MODEL 515.24...



- 3針
- カレンダー表示
- GMT
- 日付早送り修正機能

ムーブメント：RONDA515.24
クォーツ
バッテリー：371

【時刻設定】

- 1-2nd Position までリューズを引き出します。
- 2-時計回りに回転させてお好みの時間にセットします。
- 3-リューズを Normal Position まで戻し完了です。

【カレンダー設定】

- 1-1st Position までリューズを引き出します。
- 2-時計回りに回転させてお好みの日付にセットします。
- 3-リューズを Normal Position まで戻し完了です。

【GMT 設定】

- 1-1st Position までリューズを引き出します。
- 2-左巻きに回転させてお好みの時間にセットします。
- 3-リューズを Normal Position まで戻し完了です。

VD 78



- 3針
- カレンダー表示
- スモールセコンド

ムーブメント：SEIKO VD78
クォーツ
バッテリー：SR626SW

【時刻設定】

- 1-リューズを 1st Position まで引き出します。
- 2-時計回りに回転させてお好みの時間にセットします。
- 3-リューズを Normal Position まで戻し完了です。

【時刻設定】

- 1-ネジを解放してリューズを Normal Position から 2nd Position まで引き出します。
- 2-時計回りに回転させてお好みの時間にセットします。
- 3-リューズを Normal Position まで戻しネジを締めます。

【カレンダー設定】

- 1-リューズを 1st Position まで引き出します。
- 2-時計回りに回転させてお好みの日付にセットします。
- 3-リューズを Normal Position まで戻しネジを締めて完了です。

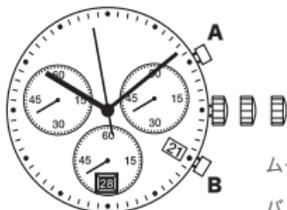
【クロノグラフ使用方法】

- 1-プッシュボタンAは、クロノグラフのスタート・ストップボタンになります。
- 2-A でクロノグラフをストップさせて、Bボタンを押すとゼロの位置にリセットします。

【クロノグラフリセット】※バッテリー交換後の作業

- 1-リューズを 2nd Position まで引き出します。
- 2-A ボタンを押すと秒針が1メモリ移動します。継続して押し続けると自動的に動きます。

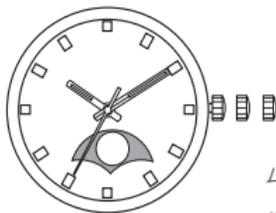
MODEL 6S20/21



- 3針
- カレンダー表示
- クロノグラフ
- 日付早送り修正機能

ムーブメント：MIYOTA 6S20
クォーツ
バッテリー：SR927W

9231



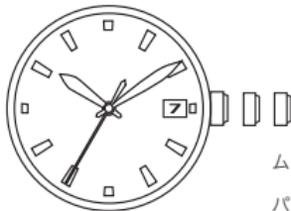
- 3針
- ムーンフェイス

ムーブメント：MIYOTA 6S20
クォーツ
バッテリー：SR927W

【時刻設定】

- 1-リユーズを 1st Position まで引き出します。
- 2-時計回りに回転させてお好みの時間にセットします。
- 3-リユーズを Normal Position まで戻し完了です。

2416



- 3針
- カレンダー表示

ムーブメント：Vostok 2416
自動巻き
パワーリザーブ：31h

【時刻設定】

- 1-リユーズを 1st Position に合わせます。
- 2-時計回りに回転させてお好みの時間に合わせます。

【未使用時からの手巻き機能】

- 1-Normal Position でリユーズを巻きます。
- 2-リユーズを10回転程度巻き上げます。その後は、ご使用中に自動巻き上げになります。

2426 / 2432



- 3針
- カレンダー表示
- 24h 表示

ムーブメント：Vostok 2426
自動巻き
パワーリザーブ：31h

【時刻設定】

- 1-1st Position に引き上げて時計回りに回転させてお好みの時間にセットします。
- 2-リユーズを Normal Position まで戻し、ネジを巻き上げて完了です。

【カレンダー設定】

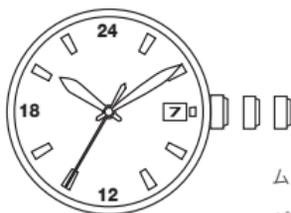
1st Position

- 1-1st Position で2回転するとカレンダーが変わります。
- 2-早送りは、24時を通過したら、2時まで進めます。
- 3-Normal Position
逆回転して8時まで戻し、時計回りに12時を通過するとカレンダーが変わります。

【未使用時からの手巻き機能】

- 1-Normal Position でリユーズを10回転程度巻き上げます。その後は自動巻き上げです。

2431



- 3針
- カレンダー表示
- 24時間時計

ムーブメント：Vostok 2431
自動巻き
パワーリザーブ：31h

【時刻設定】

- 1-リユーズを 1st Position に合わせます。
- 2-時計回りに回転させてお好みの時間に合わせます。

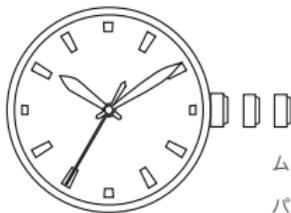
【未使用時からの手巻き機能】

- 1-Normal Position でリユーズを巻きます。
- 2-リユーズを10回転程度巻き上げます。その後は、ご使用中に自動巻き上げになります。

【カレンダー設定】

- 1-リユーズを 1st Position に引き上げます。2回転するとカレンダーが変わります。
- 2-カレンダーの早送りは、2回転してカレンダーが変わったら2時位置まで進め、逆回転して10時位置まで戻し、さらに時計回りに巻き12時を通過するとカレンダーが変わります。
- 3-リユーズを Normal Position まで戻して完了です。

2609



- 3針

ムーブメント：Poljot 2609
手巻き
パワーリザーブ：42h

【時刻設定】

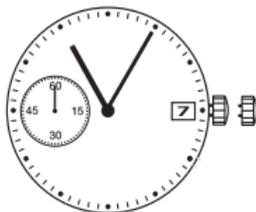
- 1-リユーズを 1st Position まで引き出します。
- 2-時計回りにさせてお好みの時間にセットします。
- 3-リユーズを Normal Position まで戻し完了です。

【機械式手巻き時計】

P11 機械式手巻き時計の巻き上げ方を必ずご参照ください。

- 1-Normal Position で時計回りに巻き上げます。
- 2-数回巻き上げると巻けなくなり巻き上げ完了です。

3105



- 3針
- カレンダー表示
- スモールセコンド

ムーブメント：Poljot 3105
手巻き
パワーリザーブ：42h

【機械式手巻き時計】

P11 機械式手巻き時計の巻き上げ方を必ずご参照ください。

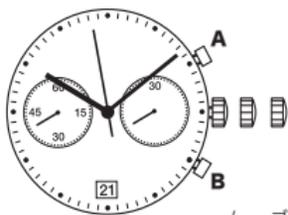
【時刻設定】

- 1-リユーズを、1st Position に引き上げます。
- 2-時計回りに回転して、お好みの時間にセットします。
- 3-リユーズを Normal Position まで戻して完了です。

【カレンダー設定】

3105 のカレンダー設定は、2431 ムーブメントと同じです。

3133



- 3針
- カレンダー表示

ムーブメント：Poljot3133
手巻きムーブメント
パワーリザーブ：42h
クロノグラフ使用時：38h

【機械式手巻き時計】

P11 機械式手巻き時計の巻き上げ方を必ずご参照ください。

【時刻設定】

1-リユーズをポジション B 位置に引っ張り出します。

2-AM/PM を気にしながら、針を回します。

3-ただし時刻で、ポジション A に戻します。

- ①PM11:00-AM1:00 の間での時刻合わせは、日付変更歯車が稼働しているため、時刻設定は行わないでください。故障の原因となります。

【日付の合わせ方】

1-リユーズをポジション B まで、引っ張り出します。

2-リユーズを回し、正しい日付に設定します。

3-リユーズをポジション A まで戻します。

※22 時 -2 時までの針を行き来させての日付変更は可能です。ただし、希少ムーブメントの為、通常の方法を奨励しております。

- ①PM11:00-AM1:00 の間で日付を設定しないでください。日付変更歯車が稼働しているため、日付設定は行わないでください。故障の原因になります。早送り機能はありません！

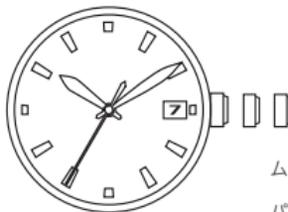
【クロノグラフ使用方法】

・ボタン A が、クロノグラフのスタートとストップボタンです。クロノグラフは、時間を計測する機能です。

・ボタン B は、クロノグラフをリセットします。クロノグラフ稼働時にも押すことができますが、機能はしませんが、何ら問題ありません。必ず下記の順でお使いください。

- ①正しい使い方：ボタン A (スタート)→A (ストップ)→B (リセット)

9015



- 3針
- カレンダー表示
- ハック機能
- 日付早送り修正機能

ムーブメント：MIYOTA9014
自動巻き
パワーリザーブ：42h

【時刻設定】

1-リユーズを 2nd Position に引き上げます。

2-時計回りに回転させてお好みの時間にセットします。

3-リユーズを Normal Position まで戻し完了です。

【カレンダー設定】

1-1st Position で時計回りに回すとカレンダーが変わります。

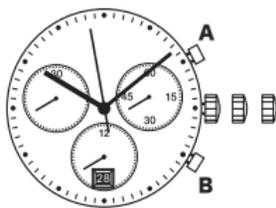
2-リユーズを Normal Position まで戻し完了です。

【未使用時からの手巻き機能】

1-Normal Position で数回巻き上げます。

2-その後は自動巻き上げです。

NE 86/NE 88



- 2針
- カレンダー表示
- クロノグラフ
- 60秒、30分積算計
- 12時間積算計
- 日付早送り修正機能

ムーブメント：SEIKO 86/88
自動巻き
パワーリザーブ：45h

【時刻設定】

- 1-2nd Position までリュースを引き出します。
- 2-時計回りに回転させてお好みの時間にセットします。
- 3-リュースを Normal Position まで戻し完了です。

【カレンダー設定】

1st Position

- 1-1st Position までリュースを引き出します。

Normal Position

- 2-左回りに回転させてお好みの日付にセットします。
- 3-リュースを Normal Position まで戻し完了です。

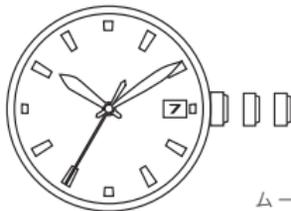
【クロノグラフ使用方法】

- 1-Aボタンは、クロノグラフのスタート・ストップボタンになります。
- 2-Aボタンでクロノグラフをストップさせて、Bボタンを押すとゼロの位置にリセットします。

【未使用時からの手巻き機能】

- 1-リュースを Normal Position で5~6回程度巻き上げてからご使用ください。ご使用中に自動に巻き上がります。

NH35A



- 3針
- カレンダー表示
- ハック機能
- 日付早送り修正機能

ムーブメント：SEIKO NH35A
自動巻き
パワーリザーブ：41h

【時刻設定】

- 1-リュースを 2nd Position まで引き出します。
 - 2-時計回りに回転させてお好みの時間にセットします。
 - 3-リュースを Normal Position まで戻し完了です。
- ※2nd Position でハック機能もごさいます。

【カレンダー設定】

- 1-リュースを 1st Position まで引き出します。
- 2-左回りに回転させてお好みの日付にセットします。
- 3-リュースを Normal Position まで戻し完了です。

【未使用時からの手巻き機能】

- 1-リュースを Normal Position で5~6回程度巻き上げてからご使用ください。ご使用中に自動に巻き上がります。



- 3針
- アラーム

ムーブメント：Poljot2612
手巻きムーブメント
パワーリザーブ：38h

【時刻設定】

- 1-BをNormal Positionで20回程度巻き上げます。パワーリザーブは31時間です。
- 2-1st Positionに引き上げて時計回りに回転させて好みの時間にセットします。
- 3-リユーズをNormal Positionまで戻し完了です。

【アラーム設定】

- 1-AをNormal Positionで20回程度巻き上げます。
- 2-1st Positionで左回りして時間を合わせます
- 3-12時間の範囲内でアラームがセット出来ます。
- 4-リユーズをNormal Positionまで戻し完了です。

■機械式手巻き時計の巻き上げ方

リユーズを巻くとゼンマイが巻き上げられます。巻き上げられたゼンマイは、元に戻ろうとします。この動力を利用して時計は動きます。ですので、自動巻き時計とは異なり、手巻き時計は、最後

まで巻き上げられると止まります。強く巻き上げすぎるとゼンマイが固定されロックされた状態となり修理が必要となりますので、慣れるまでは巻き上げには充分にご注意ください。

正しい巻き上げ方



- 1**
人差し指を矢印の方向に進ませます。



- 2**
進ませたら次に人差し指を矢印の方向に引きます。

よろしくない巻き上げ方



- A** リユーズを親指と人差し指で掴みながら巻き上げをする
- B** 手袋を付けて巻き上げをする

※AとBの巻き上げ方だと手ごたえを感じにくい為、ロックがかかる恐れがあります。

1、2を繰り返してください。段々と手ごたえを感じます。